



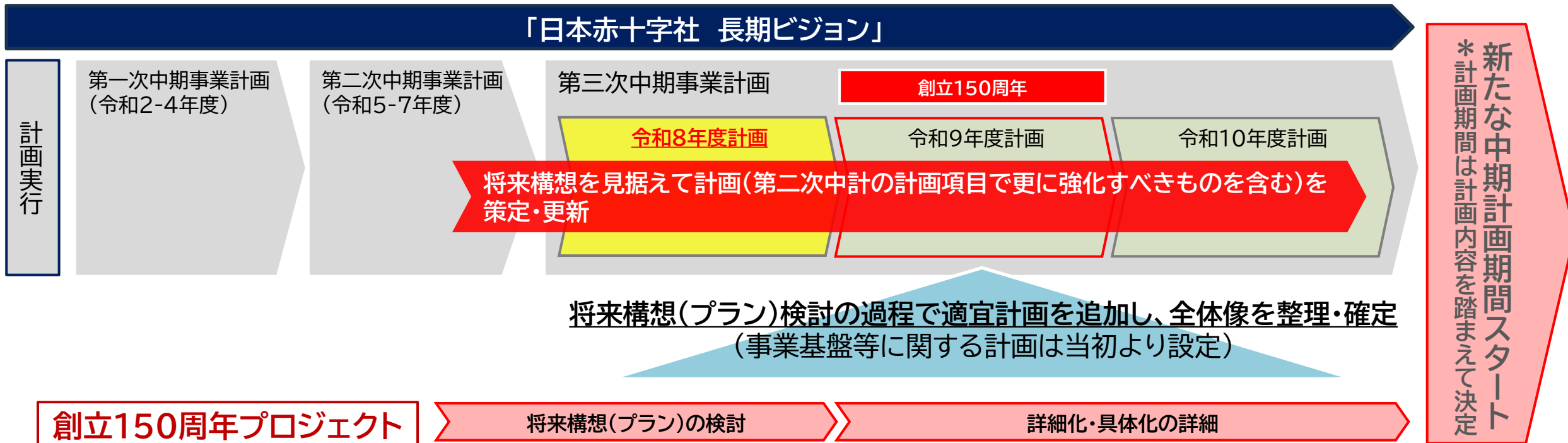
日本赤十字社  
Japanese Red Cross Society



# 令和8年度 事業計画・収支予算 (全体概要)

# 1. 日本赤十字社長期ビジョン・第三次中期事業計画

- 創立150周年以降のあるべき姿を描く将来構想(以下「将来構想」という。)を視野に入れて並行して策定。(第二次中期事業計画の計画項目で更に強化すべき項目を含む)
- 将来構想の検討状況を踏まえて適宜第三次中期事業計画に計画を追加し、将来構想の完成後に改めて全体を整理・更新する。



## 令和7年度の主な出来事



令和7年7月鹿児島十島村付近を震源とする地震において  
島民の健康観察を行う鹿児島赤十字病院看護師



令和7年台風第15号による災害において  
牧之原市職員に傾聴とハンドケアを行う  
静岡県支部こころのケア要員



令和7年11月18日大分市佐賀関の大規模火災  
において避難所へ救援物資の配布を行う  
大分県支部職員とボランティア



ミャンマー赤十字社が展開する  
ミャンマー地震被災地域における巡回診療に  
帯同する日赤看護師



大阪・関西万博への  
国際赤十字・赤新月運動パビリオンの出展

## 第三次中期事業計画における重点項目(柱とする事項)

### (1) 将来構想を見据えた重点項目

- ア 将来構想の策定(新たなビジョンと将来的な課題への対応計画(各事業等のプラン)の策定)
- イ 財政基盤の強化
- ウ 人的基盤(ボランティア)の強化
- エ 創立150周年を契機とした記念事業の立案
- オ 創立150周年の取り組み(意識醸成・PRイベントの実施)

### (2) 将来構想も射程とした第二次中期事業計画から継続して取り組む重点項目

- ア 大規模災害への対応強化
- イ 気候変動への対応
- ウ 経営基盤の安定化・DXの推進
- エ 各事業別重点取組事項

## 2. 令和8年度事業計画の主な取り組み

### (1) 将来構想を見据えた重点項目に基づく主な取り組み

#### 「新しい時代の赤十字」の確立に向けて

- 創立150周年以降を見据えた新たなビジョンの策定
- 各事業における将来的な課題への対応計画(プラン)の策定
- 資金的協力(基盤)の強化・改革
- 人的協力(基盤)(ボランティア等)の強化・改革
- 同上の強化・改革に必要な広報改革及び業務改革
- 創立150周年に向けた意識醸成に関する計画策定
- 創立150周年を契機とした記念事業の計画策定



## (2) 将来構想も射程とした第二次中期事業計画から継続して取り組む 重点項目に基づく主な計画

### ア 横断的テーマに基づく主な取り組み

#### (ア) 大規模災害への対応強化



- 保健・医療・福祉の視点に基づく包括的な救護能力の強化
- 国の南海トラフ地震防災対策修正に即した体制整備と災害対応能力の強化
- 防災教育の新カリキュラムの展開と防災・減災事業の体系化・戦略化
- 災害時における地域医療の継続のための体制強化

## (イ) 気候変動への対応



- 気候変動アクションプランの確実な実行
- 建物及び機器等から排出される温室効果ガスの削減

## (ウ) 経営基盤の安定化・DXの推進



- 新規会員の加入促進、会員・寄付者とのつながりの強化
- 赤十字病院におけるグループ経営の推進
- 血漿分画製剤用血漿確保の効率化
- 安定的な人材の育成・確保・配置
- 情報セキュリティ体制の強化
- 時代の変化に即した業務改善計画の推進

## イ 各事業部門別重点取組事項

### (ア) 救護・社会活動等

- 講習普及における受講者の利便性向上や講習管理のICT化推進
- 国際赤十字・赤新月運動の優先的人道課題への対応
- 開発協力を通じた関係姉妹社の気候変動課題への対応能力の強化
- 連盟理事社として取り組む、国際赤十字・赤新月運動全体の強化
- 核兵器廃絶等の人道課題への取り組みを通じた国際人道法の普及の強化

### (イ) 医療事業等

- 赤十字病院グループ全体の医療の質の向上
- 各地域における地域医療構想等に基づいた医療提供体制の整備
- 広く社会に貢献できる専門性の高い看護師の養成

## (ウ)血液事業

- 将来の献血基盤の確立
- 国民のBloodHealthへの貢献-鉄欠乏状態の早期発見-
- 安全管理体制の強化

## (エ)コーポレート

- コーポレートブランディング広報と事業広報・ファンドレイジングとの連携による広報展開
- 全社的なリスク管理能力の向上
- 人材価値の最大化に向けたトータルリワードの取り組み
- 先進技術を活用したDXの推進・高度分析に資するデータ基盤構築

### 3. 令和8年度予算概要

総額1兆5,660億円  
(歳出予算の合算)

医療施設特別会計  
1兆3,003億円 (83%)

(参考) 令和7年度当初予算額

一般会計:358億円

社会福祉施設特別会計:169億円

医療施設特別会計:1兆2,509億円

血液事業特別会計:1,683億円

資金特別会計:310億円

資金特別会計  
327億円(2%)

- ・退職給与資金 322億円
- ・退職年金資金 2億円
- ・損害填補資金 2億円

血液事業特別会計  
1,811億円(12%)

一般会計  
351億円(2%)

社会福祉施設特別会計  
167億円(1%)

※ 端数処理の関係から総額と内訳額は一致しないこと。

## 4. 日本赤十字社創立150周年プロジェクトについて

プロジェクトの構成	主な実施事項
① 将来構想の策定	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 50年先を見据えた「新しい時代の赤十字」を描く将来構想の策定</li><li>○ 2040年問題を含む当面の課題解決を目指す具体的な実行計画の策定</li><li>* ワークショップ等を通じて、全職員等が策定プロセスに参画</li></ul>
② 記念事業の実施	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 将来創立150周年を振り返る参照点となり、広く世に共感を得られる事業を創設</li><li>○ 記念誌等の赤十字の歴史を継承していく事業を実施</li><li>○ 事業実施に向けては必要な寄付の実施も検討</li></ul>
③ PR・イベントの実施	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 社内外に対する赤十字の理念や活動を発信し共感を得るイベント等の実施</li><li>○ メディアを活用した各種PRの実施等</li><li>○ 世の中の「救いたい」という思いを結集するイベントを実施<ul style="list-style-type: none"><li>・ 記念全国赤十字大会の開催 等</li></ul></li><li>○ 推進用資材の制作<ul style="list-style-type: none"><li>・ ポスター・動画の制作</li><li>・ ロゴマーク・エピソード冊子の制作 等</li></ul></li><li>○ は一とらチャンネル等を利用したインナーコミュニケーションの実施</li></ul>